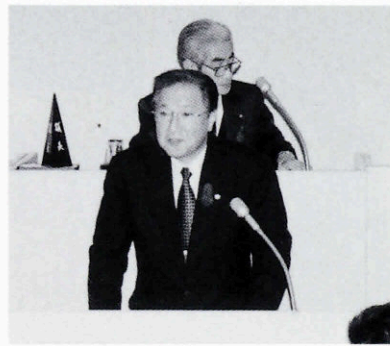


町民との対話で

活力のある町づくりを

施政方針

第一回定例町議会の町長施政方針演説



▲第1回定例町議会で施政方針を述べる藤田町長

はじめに

二十一世紀を目前に控えた今日、我が国の経済は厳しい状況をなお脱していないものの緩やかな改善が続いている中、これを本格的な回復軌道につなげていくため、経済新生対策を始めとする必要な諸施策を推進し、景気の回復に向け懸命の努力がなされています。

こうした中、地方公共団体に対しては、地方分権の時代にふさわしい簡素で効率的な行政システムを確立するため、徹底した行政改革を行うこと。また、財政体質の健全性の確保に留意しつつ、それぞれの地域経済の状況に鑑み、景気回復への取り組みを行うとともに、

に、介護保険制度の実施を始めとする総合的な地域福祉施策や生活関連の整備等地域の課題に積極的に取り組むよう求めているところであります。

このような情勢を踏まえながら、本町の平成十二年度一般会計予算は、四十九億千九百七十万円と定め、前年度当初に比べ、八・三％減の予算となっております。

予算編成に当たりましては、歳入財源の確保に留意し、大型継続事業を優先しながら、経常経費の節減・抑制を図り、地域の活性化対策、福祉対策等町政の均衡ある発展と活力あふれる油谷町の実現を目指して、諸施策を進めて参る考えであります。

●第三次油谷町総合計画の策定

初めに、将来の油谷町のあるべき姿についての指針であります「第三次油谷町総合計画」の策定であります。昨年二十歳以上の町民の皆さんから、無作為に千人の方々を抽出させていただき「町民アンケート調査」を実施しました。このアンケートには半数以上の方が

ら回答を得ており、この調査にご協力いただきました方々に対しまして厚くお礼申し上げます。

このアンケートの集計結果の概略を広報ゆやでお知らせしていますが、この結果を基に新年度は、更に各種懇談会等を開催し、幅広く町民の皆さんの意見・要望を直接お伺いし、総合計画審議会、町議会のご協力を得ながら、皆さんが要望する二十一世紀のゆやのまちづくりの指針として策定したいと考えています。

上空から見た油谷町

